

グリーンスローモビリティについて

平成31年2月22日

国土交通省総合政策局環境政策課

課長補佐 三重野真代



グリーンスローモビリティ

電動で、時速20km未満で公道を走る 4人乗り以上のパブリックモビリティ

Green

Slow

Public

軽自動車	小型自動車	普通自動車
 4人乗り	 7人乗り	 車椅子リフター可 16人乗り
 4人乗り	 10人乗り	特殊用途車両（8ナンバー）
	 車椅子リフター可 10人乗り	 福祉車両タイプ

グリーンスローモビリティの5つの特長

① **Green**・・・CO2排出量が少ない電気自動車。

② **Slow**・・・ゆっくりなので、観光にぴったり

③ **Safety**・・・速度制限で安全。高齢者も運転可

④ **Small**・・・小型なので狭い道でも問題なし

⑤ **Open**・・・窓がない開放感が乗って楽しい

※乗合バス事業、タクシー事業、自家用有償旅客運送で運行可



①地域住民の足として

- 1) バスが走れなかった地域
- 2) 高齢化が進む地域
- 3) お年寄りの福祉増進
- 4) 既存のバスからの転換



②観光客向けのモビリティとして

- 1) ガイドによる観光案内
- 2) プチ定期観光バス
- 3) パークアンドライド
- 4) イベントでの活用



③ちょこっと輸送

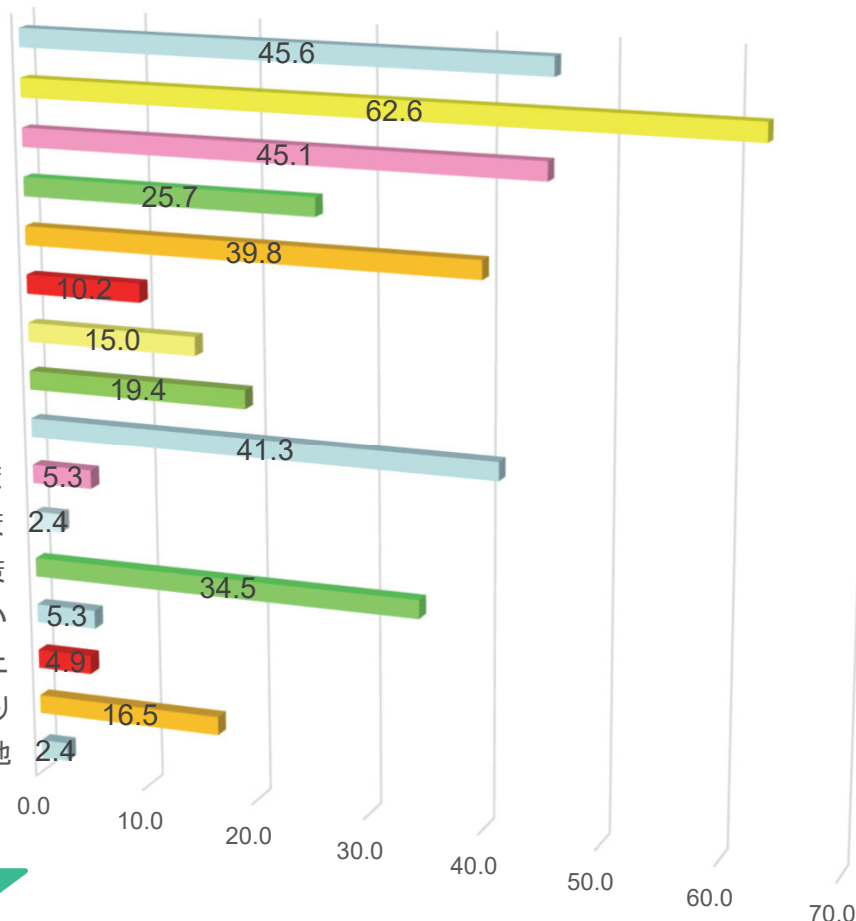
駐車場から施設まで
施設から施設まで

④地域ブランディング 「地域の顔」として



Q グリーンスローモビリティを導入することで、解決できる課題(回答数=206)

1. 今まで公共交通が走っていなかった地域への導入による地域住民の足の確保
2. 高齢化が進んでいる地域での高齢者の足の確保
3. 地域公共交通ネットワークの充実、利便性の向上
4. ラストワンマイル対策
5. 観光客の足の確保
6. 住宅団地の再生
7. 中心市街地の活性化
8. 地区の活性化、賑わい不足
9. 観光客向けの新しい魅力の創造
10. 観光客による混雑対策
11. 渋滞対策
12. 高齢者の福祉対策
13. 地域の「顔」となるモビリティがない
14. 電気自動車の導入比率の向上
15. 地域の省CO2対策、低炭素まちづくり
16. その他



国交省・環境省「平成30年度地域におけるグリーンスローモビリティ導入に向けた調査」より

地球温暖化

地域公共交通の確保

高齢化社会

観光振興

(%)

地域での低炭素型社会の実現と、地域が抱える様々な交通の課題の解決を同時に進められる
新しいモビリティ・コミュニケーション装置

【H30】グリーンスローモビリティの主な実走実績

島根県松江市



京都府伊根町



富山県黒部市宇奈月温泉



青森県十和田市
奥入瀬溪流



岡山県備前市



京都府京都市



石川県輪島市



福島県
いわき市



広島県福山市



群馬県
桐生市



東京都豊島区
(池袋)



静岡県沼津市



神奈川県横浜市



京都府和束町



東京都
利島村



大分県姫島村



大分県大分市



グリーンスローモビリティの事業化(例)

1) 住宅地



島根県松江市

- 郊外の**高台の住宅団地**。**高齢化**が進み、バスも走っていないエリア
- **団地内の住民の足**として、**社会福祉法人**が松江市と協力してグリスロを運行(実証実験)

2) 観光地兼住宅地



京都府伊根町

- 離合が難しい**狭小な**道。観光客が増えたが道が狭く歩行者も**危険**
- 地域住民と観光客の移動モビリティとして、伊根町観光協会が**自家用有償旅客運送**による有償実証実験を実施



広島県福山市

- 古くからの地割を残す**狭隘な**道。急な坂道が多い。
- 地域住民の移動、観光客の移動モビリティとして、国交省の実証調査を実施。**タクシー事業**として来年度からの事業開始を検討中

3) 離島



大分県姫島村

- 完全**離島**。道は狭く坂は急。**公共交通空白**地域。
- 7月から姫島村エコツーリズム協会が**レンタカー事業**を開始
- 今後、高齢者の移動手段、観光客向けの**ガイドモビリティ**としても活用予定

4) 中心市街地



東京都豊島区

- 池袋エリアの**まちづくり、ブランディング**の推進
- **中心市街地を周遊**する観光客向けの周遊バスとして、**乗合バス事業**を取得し、2019年11月から事業開始予定